



T S U N A G U

- **小から中への滑らかな接続にむけて** -

令和2年3月4日
我孫子市小中一貫教育だより
第226号
我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT・ふるさとを活用した授業が行われたうなー！

我孫子第二小学校

友だちに、もらってうれしいメールを送ろう



2月19日に、3年生でAbi-ICTを活用した授業が行われました。授業では、学習の導入として、子どもたちにとって身近な「手紙」を題材にして情報モラルについて学びました。

子どもたちは、資料に登場する主人公の作ったメモ手紙をもとに、人によって「嬉しい」と感じる言葉には違いがあることに気づくと、「どうすれば、もらった相手が『嬉しい』手紙になるのか」をテーマに、話し合いました。その中で、相手の性格や状況を踏まえて伝える大切さを学びました。

授業の後半では、実際に隣の席の友だちに手紙を送る体験活動を行いました。前半での学びが生かされ、相手の良さを伝えたり、頑張っていることを応援したりするメッセージがたくさん書かれていました。

メールやSNSでのやりとりは、顔の見えない相手とのコミュニケーションです。相手の立場に立ち、相手のことを思いやって言葉を選び伝えることが、さらに大切になります。こうした体験活動を通して、コミュニケーション力を高め、また情報モラルへの意識を高めていきます。



我孫子第四小学校

「血脇守之助」

2月26日に、6年生でAbi-ふるさと「血脇守之助」の授業が行われました。子どもたちは、「血脇守之助」の名前を聞くと、手賀沼のほとりにある碑や、野口英世との関わりについて声が上がリ、地域の先人として認識している様子がよく伝わってきました。



実際に「ふるさと我孫子の先人たち」を資料にして、血脇氏の生い立ちや野口英世との関わりについて学習を進めていくと、血脇氏自身が挫折を乗り越え努力し、日本歯科学に大きく貢献したことや、野口英世に対して様々な援助をして彼の業績を支えたことなどがわかりました。

また、血脇氏の野口英世への思い、野口英世の血脇氏への感謝の気持ちなどを友だちと話し合いながら想像することにより、より深くその人物像を理解することができました。

授業後の感想では、血脇氏への尊敬の気持ちや、自分たちのふるさと我孫子にこうした先人がいることを誇りに思う気持ちなどが書かれていました。

